

平成30・31年度

第1回学会・医会協議会 議事録

平成30年11月18日(日) 11:30~12:10

於：ホテルオークラ福岡 4F 「平安1」

司会：高橋委員、河合委員

協議会の冒頭に森山会長より挨拶があった。

協議事項

1. 医会の全国組織化について(森山会長、福與委員)

一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会の定款(案)及び諸規程(案)を協議し、来年5月の代表者会議で承認を得る方針であることが承認された。

一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会規則の概要について以下の説明があった。

- ・会員はA会員、B会員、賛助会員の3種とし、この内A会員とB会員を正会員とする。
- ・入会希望者は、所属の医会を經由して、「入会申込書の提出」と「入会金及び会費の納入」を一緒に行い、理事会の承認を得た時点で、入会(会員の資格取得)となる。
- ・入会規程は2020年4月以後の新規入会者を対象者としたもので、それ以前の医会会員は各医会からの会員名簿提出をもって入会手続きに代える。
- ・一旦、任意団体会員と代議員を確定させてから任意団体を一般社団法人化する。

2. 会員情報新システムについて(高橋委員)

標記システムについて以下のような報告、説明があった。

- ・会員マイページのログイン率が未だ53%のため、一層の普及活動が必要である。
- ・本年10月より講習会開催申請システムの運用が開始された。11月末にはICカードの郵送配布が行われる。2019年1月の日本頭頸部外科学会よりカード受付システムの運用が、同年7月の夏期講習会から参加者事前登録システムの運用が開始される。
- ・ICカード受付システムの導入で、総合受付でのカードタッチ、各講習会会場での入退室時のカードタッチにより参加の単位、領域講習・共通講習の単位が付与される。なお1人あたりの通過には約4秒を要する。
- ・大規模学会では、ICカードを忘れた参加者に対する仮カード発行システムを準備することができる。
- ・カードタッチシステムは、小規模学会ではシステムをダウンロードすることにより開催者自らの運営が可能となる。中規模学会ではシステムがインストールされているコンピュータをレンタル

する方法、大規模学会では KCS 運用担当者に業務委託するという選択肢がある。

- オンライン会費納入システムの運用が開始された。今回は 2019 年度本会費（前受け）18,000 円と IC カード発行費用 2,000 円の計 20,000 円がその対象となる。来年の徴収からは日耳鼻本会費（前受け）とその年度徴収分の地方部会費が対象となる。郵便振り込みでの支払いも可能だがクレジットカードの利用を推奨する。
- オンライン化と医会運営との連携については、会員資格の確認と医会主催の日耳鼻認定の共通・領域講習の単位管理が可能となるが、医会オリジナルの資格に関する情報管理には別システムが必要になる。
- 今後も日耳鼻会報での会告、ホームページ、説明会などでシステムへの理解、普及に努めていきたい。